

検察事務官（検察事務官採用責任者）



【職歴（キャリアステップ）】

S 6 2. 4 桐生区検察庁採用

H 2. 4 東京高等検察庁

H 3 1. 4 那覇地方検察庁事務局長

R 3. 4 最高検察庁検務課長

R 4. 4 静岡地方検察庁事務局長

R 5. 4 横浜地方検察庁事務局長

★学生向けメッセージ★

検察事務官は、一般職国家公務員試験合格者の中から採用されます。

検察庁では、職員比において検察官の約3倍程度の検察事務官が働いており、刑事司法分野の実務家として、日々公正・誠実に職務に当たっています。

さて、刑事事件は大きく分けると、捜査、公判（裁判）、執行の三段階に区分され、それぞれの段階で検察事務官も各業務に深く関わります。

一般的には、採用後、県庁所在地等にある地方検察庁で勤務し、様々な職務経験を積み重ねますが、一定の資格が付くと法律科目の試験を受けて、検察官である副検事に昇任する道も選択できますし、それ以外では、例えば、東京高等検察庁、最高検察庁、法務省等における勤務を経て、自身のスキルアップを図ったり、職員間における交流範囲を広めたりすることもできます。

また、職員はプライベートにおいても、スポーツや趣味などでリフレッシュすることを上手に取り入れていますし、育児休業者や仕事をしながら子育てを行っている職員も少なくなく、組織としても相互支援が定着し、十分に働きやすい職場といえるのではないのでしょうか。

貴方のチャレンジを心からお待ちしています。